

八丈町 News Letter From
Hacijyo Town Assembly

議会だより

No.
156
2010.11.25

議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます
http://www.town.hachijo.tokyo.jp/gikai/gikai_dayori/gikai_dayori.html



平成22年第三回八丈町議会臨時会

目次

町議会議員改選

- 新たな町議 14人紹介 2
- 正副議長選挙 各委員会人事決まる 4
- 一般質問 5
- 視察報告 9
- 本会議の質疑から 11

八丈町議会議員改選

新議長就任あいさつ

八丈町議会議長

小澤 一美

平成22年10月25日、平成22年第三回八丈町議会臨時会で実施された議長選挙におきまして、不肖私が多くの方の議員の皆様の御推挙を賜りまして、第26代八丈町議会議長に就任することができました。

身に余る光栄であり、心から感謝を申し上げます。次第であります。

町議会とは、町民の代表者である議員が町行政のあり方をチェックし、町民にとって最も有効な方向に導く機関です。

地方分権の推進が進み、地方自治体を取り巻く環境が大きく変貌し続ける中、地方自治体は自己決定、自己責任の行政運営が求められております。

また、著しく進行し続ける高齢化への対策、福祉の充実、産業振興、雇用対策、子ども達の健全な成長を支える教育の推進等、多くの課題も抱えております。

この度、町議会議員選挙で選任された私共14名の町会議員一同、町民の皆さんの要望や意見を町政に反映させ、一層の財政健全化促進、質の高い行政運営、様々な課題の解決を図り、町民にとって最も豊かな町づくりを行うとともに、住民に信頼される議会を目指し邁進してまいりますので、温かいご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

議員紹介



水野佳子
公明党 1期



廣江 才
無所属 1期



岩崎由美
民主党 1期



菊池 良
無所属 1期



山下 崇
自由民主党 1期



奥山博文
無所属 5期



山口英治
無所属 5期



奥山幸子
無所属 3期



菊池睦男
日本共産党 5期



山下松邦
公明党 3期



小澤一美
無所属 6期



土屋 博
自由民主党 3期



長戸路義郎
自由民主党 8期



沖山宗春
無所属 5期

写真、右上より議席順

正副議長選挙

10月25日（月）八丈町第三回臨時議会において正副議長、並びに各委員会委員の選任をいたしました。

議長 小澤 一美（71） 出身…三根

副議長 土屋 博（72） 出身…三根



議長選挙の様子

◎常任委員会

総務文教委員会

定員7名

（任期 平成22年10月25日
～ 24年10月24日）

委員長 奥山 幸子
副委員長 山下 崇
委員 水野 佳子
菊池 睦男

議会運営委員会

定員7名

（任期 平成22年10月25日
～ 24年10月24日）

委員長 奥山 博文
副委員長 菊池 睦男
委員 山下 松邦
奥山 幸子

山口 英治
奥山 博文
沖山 宗春

山口 英治
長戸路義郎
土屋 博

経済企業委員会

定員7名

（任期 平成22年10月25日
～ 24年10月24日）

委員長 土屋 博
副委員長 山下 松邦
委員 菊池 良
岩崎 由美
廣江 才

長戸路義郎
小澤 一美

◎各種委員会

表彰審査委員会

山下 松邦
山口 英治
沖山 宗春
長戸路義郎
土屋 博

総合開発審議会

山下 崇
岩崎 由美
水野 佳子
奥山 博文
長戸路義郎

災害復旧資金貸付審査会

山下 松邦
沖山 宗春

民生委員推薦会

奥山 幸子

給食センター運営審議会

奥山 幸子
小澤 一美

富士牧野運営審議会

菊池 睦男
山口 英治
小澤 一美

地下水保全審議会

岩崎 由美
廣江 才

修景美化審議会

山下 宗
菊池 良
岩崎 由美
沖山 宗春
土屋 博

青少年問題協議会

沖山 宗春
小澤 一美

国民健康保険運営協議会

廣江 才
菊池 睦男
奥山 幸子
山口 英治

消防委員会

三 根地域担当
大賀郷 〃
檜立 〃
中之郷 〃
末吉 〃
奥山 博文
菊池 睦男
廣江 才
山下 崇
沖山 宗春

監査委員

長戸路義郎

議会だより編集委員

山下 崇
岩崎 由美
水野 佳子
奥山 幸子

研修視察委員

菊池 良
長戸路義郎

8月臨時議会主な議決事項

- 専決処分事項の報告及び承認について
- 平成22年度八丈町一般会計補正予算

9月議会主な議決事項

- 八丈町教育委員会委員の任命の同意について
- 平成22年度八丈町一般会計補正予算ほか補正予算7件
- 八丈町債権管理条例
- 檜立中之郷線道路改良工事請負契約ほか2件
- 町道の路線の認定について
- 平成21年度八丈町水道事業会計決算認定ほか決算認定2件

10月臨時議会主な議決事項

- 八丈町監査委員の選任の同意について
- 議員の派遣について

離島医療について

答

補助の対象をどのようにしぼるか現在検討中である



◆所要時間 11分

山下 松邦 議員

質問 島内における慢性疾患患者、難病患者、障害者等への交通費等の助成事業を行う場合、都は300万円を上限として市町村へ助成を行うこととしたが、この事業を行う考えはないか。また、これらの患者に限定せず、補助の拡充を行う考えはないか。更に上限額の拡大を求める要望活動を行う考えはないか。

答 笹本 重喜 健康課長

島外病院に定期的にかからなければいけない慢性疾患患者、障害者の方の患者

数、年間通院回数 of 把握が大変難しい。

慢性疾患患者とはどのような病名をもって慢性疾患患者とするのか、自己都合で島外の病院にかかっている方にも助成を行うのか、また、自己都合か否かの判断、助成額の問題、助成方法、付き添い者に対する助成の問題、所得制限をもうけるか等、実施にあたりさまざまな問題があるので、今後検討していく。

緊急通報システムについて

答

今後も情報発信に努める

質問

島内において緊急情報システムの認知度や普及率はまだまだ低いと考える。一人でも多くの方に

利用していただくよう普及率を上げる活動をしていく考えはないか。

答 笹本 重喜 健康課長

緊急通報サービスは、月1回健康状態の確認をさせていただく他、本人に何か異常が発生した場合に緊急通報装置、または小型無線送信機の通報ボタンを押すことで、緊急の対応や健康・医療相談に対し24時間対応するものである。

昨年は高齢者実態調査の中で、民生委員のご協力のもとサービスの説明をしている。サービス希望者には町から個別に電話説明を実施。現在の利用者数は92名だが、利用者が増えるよう引き続き情報発信していく。

都市計画道路（空港通り）に歩行者向けのトイレ設置を

答

都道に付随することは都に要望を

質問

最近、空港前のヤシ並木道路は散歩者が増

加した。ところが、長い道のりにトイレがない。駅への階段を歩かず、車で移動する島での散歩はすばらしいと思う。休憩所を兼ねたトイレ設置の考えはないか。

答 山越 整 住民課長

都市計画道路ということなので、八丈支庁に確認をしたところ都道沿いに東京都が休憩所を兼ねたトイレ

を設置している例がないということもあり、現在のところ設置予定はないとのこと。

八丈町においては、ここ数年大型公共事業が集中していることから財政的に非常に厳しい環境にあり、他地区の要望との調整や財源の目途をたてながらの計画となる。また、都道関係は東京都に頼んでほしい。



都市計画道路のヤシ並木

養護老人ホームの今後をどのように考えるか

答 建て替えは難しいが、対象者の救済は行政が行う



奥山 幸子 議員

◆所要時間 31分

質問 ①高齢者福祉施策の中で養護老人ホームをどう位置づけているか。
②今後、養護老人ホームに代わる施設をどのように考えているか。

答 笹本 重喜 健康課長

町としては、養護老人ホームは本来の目的としての措置施設以外に特別な事情がある方たちとの施設となっていること、介護保険外の施設であることから重要な施設に位置付けている。現在も毎月1回は養和会と意見交換・情報交換をして

いるが、今後も養和会と町の高齢者施策をすり合わせながら、今後の施設介護を含む介護施策の在り方を考えていきたい。

養護老人ホームに代わる施設に関しては、養和会は自己資金がないので建て替えないという話が出たと思うが、町としては正式にその決定を伺っていない。三宅村や青ヶ島村の割り当ての関係もあり、広域的な要素もついているので代わる施設ということは考えていない。ただし、サービス付きの高齢者専用住宅、24時間対応の在宅サービス等の検討課題に取り組み一方で、必要な施策については実現に向けて考えていきたい。

再質問

特養・養護の現状分析と、今後の介護の在



養護老人ホーム

り方について、多くの方の意見を聞ける話し合いの場を作ってほしい。

答 笹本 重喜 健康課長

町だけでなく関係各所、議員と将来のあり方を話し合っ

て設計していきたい。養護の申込者については、毎月20名を入所判定委員会にかけリスクの高い人から順次入れる形をとっている。特養養護老人ホームの待機者で本当に入所が必要なのは一部であると判断しているので、今後、調査させてほしい。

町のバス事業の方針を問う

答 貸切バスの運行委託路線バスの小型化等の検討を重ねる

質問 ①特別委員会の提言をどう評価しているか。

②今後のバス事業について、具体的な改善策はあるか。

答 小川 一 企業課長

特別委員会の提言については、バス事業の運営にあたって「利便性の向上」、「コストの縮減」、を一番に考えるとともに、住民の生活である足の確保を基本とし、検討をすすめていかなければならないと考えている。

また、貸切バスの運行委託、路線バスについては、バスの小型化やデマンドバスの活用など抜本的な見直しを検討していく必要があると考えている。

今後のバス事業については、人口、観光客の減、レ

ンタカー等の利用により、乗合収入の増収は見込めないのが現状で、貸切バスの利用については、旅行会社からの貸切観光、大型客船入港時の島内観光、冠婚葬祭時の島民の利用、等々、必要性が多々ある中で、島内の大きなイベント（サッカー大会、野球大会等）に対し、積極的に協力し、増収に努めていく。

再質問

今後の経営についてタクシー、レンタカー業界と話し合いを持つこと、およびモデル事業として、どこでも乗り降りできるバスや小型バスの運行を始めてほしい。

また、貸切バスや小型バスの運行をいつから開始するのか。

答 小川 一 企業課長

どこでも乗り降りできるバスは、デマンドバスも含めあらゆる方向から検討をすすめる。

タクシー、レンタカー業界の話し合いについては、過去にバスの民間委譲が不調

に終わった経緯がある。マ
イクロバス等は各業者が運
営している。これらを含め
て相談しながら進めて行き
たい。検討段階でいつから
開始するかは未定。

答 土屋 久公営企業管理者
1番目にバスの小型化を
進める。時間、コース、台
数等の関係からデマンドバ
スが八丈町に合うか、民間
業者の経営にも影響がある
のでいつから開始するかは
控えさせてほしい。

デマンドバスとは？
利用者の需要・要求にあわせ
て基本路線外を運行する形態。



町営バス

八丈小島、八丈富士山羊捕獲事業全
容の報告書作成について

答 ノヤギ対策協議会に諮り検討



菊池 陸男 議員

◆所要時間 50分

はまだできていないことか
ら、撲滅宣言には至ってい
ない。今年度で最後の捕獲
から5年が経過しているの
で、経過確認のためにも生
息調査の実施や報告書を作
成するかどうか等も含め
て、ノヤギ対策協議会に諮
り検討したい。

アシタバ摘み取り園の
整備について

答 利用期間を延長する
など運用面・管理面
を含めてアシタバの
生産者で組織される
部会の方と相談しな
がら取り組んでいき
たい

高齢者施策ガイド、介
護保険サービス利用料
軽減の実現はいつか

答 高齢者施策ガイドは
作成中、介護保険サ
ービス利用料軽減は
遅れている

光客に喜ばれる取り組みを
する考えはないか。

答 奥山 拓産業観光課長
アロエ公園トイレ横の敷
地を利用して摘み取りがで
きるように整備、管理して
いる。昨年のヘルシーフェ
スタでも、摘み取りを実施
しており、サブ会場との位
置づけで運用している。運
営面・管理面を含めてアシ
タバの生産者で組織される
部会の方と相談しながら、
取り組んでいきたい。

答 笹本 重喜 健康課長
① 高齢者施策ガイドにつ
いては、「八丈町長寿ハン
ドブック」というかたちで
現在素案を作成し、地域ケ
ア会議で内容を検討してい
る。
介護保険サービス利用料
軽減については遅れてい
る。

② 老人保健施設の誘致に
関しては、何件か話があつ
たが、いずれも正式な話ま
で至っていない。他の自治
体の現状調査、町の現状、
保険料の問題等も考えなが
ら慎重に検討したい。
養和会養護施設の建替え
計画は、具体的な話は進ん
でいない。養和会、町、議
員で話し合い検討したい。

町民のいのちと健康を
守る国保施策の改善を

答 国保税の軽減を6
割・4割から7割・
5割・2割に拡大す
ることを考えている

質 問 ① 保険証取り上
げ(資格証明書発行)から

質 問 捕獲に至った理
由経過、開始年度、予算、
小島の自然植物の復元状
況、海底の復元状況、撲滅
宣言等、その報告は、全国
的に野生動物の被害が顕在
化している今日、貴重な学
術的報告書になりうるもの
と思われるが、その考えは
あるか。

答 奥山 拓産業観光課長
八丈小島については平成
18年9月に1頭捕獲したの
を最後に終息の傾向にある
ものの、山羊の確認はされ
ていない。全頭捕獲の確認

質 問 永郷富士山線も
完成したが、大越アロエ公
園付近にアシタバの摘み取
り園を整備し、あの一帯の
付加価値を高め、住民や観

質 問 ① 高齢者施策ガ
イド、介護保険サービス利
用料軽減の実現はいつか。
② 老人保健施設の誘致、
養和会養護施設の建替え計
画の進捗状況を問う。

生活困窮者を守るべき。八丈町の資格証明書、短期保険証発行の実績を時系列で明らかにし、「悪滞納者」以外は本証を発行するべきではないか。

②窓口負担の軽減、減免制度（国保法第44条）を創設し、生活困窮者をまもるべきではないか。

答 山越 整 住民課長

①保険証については、国保法本来の理念である相互扶助の精神という観点からも、真に町民の命と健康を守る制度として、安定的かつ継続的な運営ができるようにしていくためにも被保険者の負担の公平を図るべきであり、納付相談の機会を確保するための措置として適切な運用をしたい。

②窓口負担の軽減は、町の国保が大変厳しい財政状況でありながらも、住民の健康増進と医療費の抑制・滞納の対策強化による財源確保に取り組んでいる。

この状況の中、国保税の軽減を6割・4割軽減から7割・5割・2割軽減に拡

大することを優先することを考えている。

●こんな質問もしました

質問 産業振興資金の貸付復活について

答 J A 東京島しょ農協が「要改善J Aのレベル5」に指定され、現在のところ困難

質問 一般廃棄物管理型最終処分場の汚水の漏水検知施設と安全運営協議会の設置を

答 高密度電気探査法で漏水を把握。安全管理等を目的とした機関を設置予定

質問 トコブシの陸上養殖について

答 現段階では非常に厳しい

質問 八重根交通広場の整備促進を

答 防風林の設置はすでに実施済み

厳しい社会状況のなか、町職員の
仕事力について

答 職員は努力している



◆所要時間 39分

菊池 綾子 議員

質問 民間企業の社員以上にとりわけ小さな地方自治体の公務員に求められているのが仕事力ではないか。厳しい動揺と変化をおこしている今の日本であるが、これからあらゆる面で地方自治体の自立が求められる。その時代に住民の生活を守っていく町職員の仕事力を問いたい。

答 佐々木 昭 総務課長
職員は経験を積むことで、技術、また姿勢も向上する。仕事を向上させるには、経験ばかりではなく、

当然知識も必然。そのためには、役場内、課内のコミユニケーションであったり、住民との対話、また、職員研修などを通じて、個々のレベルを上げていくことが重要であると考えている。職員は努力している。そのところはくみとってほしい。また、当然、努力していくとしか答えようが無い。

再質問 ①元氣、やる気とおもしろさがある職員を育成するために一般職員の研修を考えてほしい。窓口での申請手続きにおいて丁寧な指導をしてほしい。

②必要最低限の野焼を認めてほしい。

③委託の管理にどの程度関与しているか。

答 佐々木 昭 総務課長

①研修は若い職員を対象に心がけている。住民係の対応については、証明書の使用用途を言明していただければ対応しやすいと思う。

②野焼を認めることではできない。

③委託内容についてはチェックできていると認識している。



高齢者とその活動への
町の関わり方について

答 出来る限りのことは実施している

質問 町の補助金がほぼ一律10%削減となった。高齢者の補助金については必要なものは手当てしていくべきではないか。ひきこ

もりにならないように活動の活性化を後押しすることはできないか。

答 笹本 重喜 健康課長

高齢者施策としての補助金は、老人クラブに対する補助金、シルバー人材センターへの補助金があるが、今年度減額はしていない。

活動の活性化については、町では敬老会、グラウンドゴルフ大会、高齢者演芸大会等を開催している。

また、健康教室を各地域毎月開催し、保健師を中心に高齢者の健康づくりに努めている。

高齢者の皆さまに対し町といたしましてはできるかぎりのことを行っているつもりだが、要望があれば町としても検討する。

高齢者の手続きの簡素化を

答 町単独で決めている様式以外は困難

質問 高齢者の申請手続きの簡素化。高齢者の培

ってきた知恵と力を伝えることが町の活性化につながるものとし、尊重する姿勢を町に求める。

答 笹本 重喜 健康課長

都や国で定めている様式については簡素化が難しい。町単独で決めている様式については申請の簡素化はこれからの課題であると考えている。

シルバー人材センターでの技術継承、郷土料理、黄八丈、民生委員としてのご活躍、漁協婦人部の活躍等、ご高齢といっては失礼にあたるような元気な高齢者の活躍は町の特徴とと思っている。

高齢化率の高い我が八丈町において高齢者の知恵は財産である。元気を保っていつまでもお知恵をいただくよう町としても高齢者福祉に力をいれていく。

行政視察レポート



東京都 御蔵島村

ガイドツアー体験

期間 平成22年7月7～8日

視察者 菊池綾子、土屋博

菊池睦男

天候の悪い中を愛らんどシャトルで八丈島から25分、高低差の激しい、自然の美しい島が御蔵島です。人口310人の島に昨年一年間で83



水が豊富な御蔵島

00人の観光客が訪れています。「すごい数だね〜！」と驚愕、更に私たちは村役場でいろいろとお話を伺いました。

御蔵島は八丈島の約3分の1の大きさで10本の河川があり、豊富な水量で伊豆諸島唯一の水力発電所が稼働しています。緑の森が育んだ水を製品化した「御蔵の源水」は、他のブランド品として新しい産業となっています。

島の大部分は、スタジイの原生林に覆われ、屋久島に次いでまとまった面積の常緑広葉樹林、照葉樹林が生育しています。この森の中に日本一のスタジイ（幹周13・79cm）をはじめ、多くの巨木があります。また、古くからオオミズナギドリ（カツオドリ）の国内最大の集団繁殖地として知られ、森のいたるところに巣穴が作られています。近年島の周囲の海域は、イルカの生息・繁殖地として知られ、春から秋にかけて、イルカウォッチングのために多くの愛好

者が訪れます。島の自然を守るために、平成16年から東京都に申請して、観光のガイド制度を設けて、村民のガイド育成を行っています。山のルール、海のルールを作り、ガイドが付かないと入れません。40000円から70000円のガイド料は村民の生活の糧になっています。

その後、長靴とカッパを八丈島から持参した私たちは、小雨の中ガイドと共に原生林へ、いざ出発！息を弾ませながら、カッオドリの巣穴を見つけては大喜びしたり、巨木に驚いたり、深い森にすっかり魅せられてしまいました。「同じ島でも八丈島とは全く違うね」疲れも忘れて、マイナスイオンをいっぱい浴びて、リフレッシュすることができました。

残念ながら、海は波が高く、イルカウォッチングは出来ませんでした。観光資料館では島の歴史や文化を垣間見ることができ、御蔵島がますます身近に感じられました。

百聞は一見にしかず！ぜひ一度、御蔵島への来島をお勧めします。

報告者 菊池 綾子



高知県 独立行政法人水産総合研究センター 龍馬の故郷を訪ねる

期間 平成22年9月12～14日
視察者 佐々木治、奥山博文、
田村六郎、小澤一美

平成22年9月12日、AM9時5分、私達議員4名は議員研修のため、八丈島空港を飛び立った。目的地は高知県の土佐。日本を変えた男として最も有名な坂本龍馬の故郷である。自分の意思を最後まで貫き37才の生涯を終えた龍馬の原動力はどこから生まれたのか、八丈町の行政に係わる議員として少しでも触れて見たかったのである。

羽田空港に到着した私達は、そのまま乗り継ぎでAM11時20分龍馬空港（高知空港）へと出発した。空港到着後、宿泊先である足摺岬へと向かった。長時間車中から見える道路は決して素晴らしい道路とは思えないが、もしかしたら、この道路は龍馬が脱藩した時利用した道路かもしれないと勝手に想像した。

翌日、私達は栽培漁業で有名な独立行政法人水産総合研究センターを

訪ねた。八丈島でもシマアジヤトコブシの養殖は実施しているが、水槽の中で勇壮に泳いでいるカンパチを見ていると、スケールの違いに驚か



海上生け簀

されたものである。

次に訪ねたのが、日本で最後の清流と言われた四万十川である。全長約300キロメートル、東京、八丈間と同じである。龍馬も子供の頃、この清流の中で育ったのだろうか。

平成22年9月14日、羽田発最終便で八丈島に帰るため、龍馬空港（高知空港）から機上の人となった。

報告者 佐々木 治



栽培技術開発センター古満目分場

本会議の質疑から

乙千代ヶ浜プールの 工事



奥山博文議員

工事内容の説明を。また、最近人気がある海水浴場なので、今後の維持管理に努めてほしい。

佐々木昭総務課長 台風の影響でプールの床、壁の剥離修繕、および海水を汲み上げる機械のバルブの修繕を実施した。



修繕後の乙千代ヶ浜プール

奥山拓産業観光課長 観光協会から、これまで累積赤字が出ていたこと、および観光協会の人員が大幅に変わったこと

観光協会からの要望があり実施に至った。更にこれまで予算を掛けて継続してきた経緯がある中で、観光振興の観点からもやめてしまうことに納得がいかない。



山口英治議員

底土海の家をなくした理由



毎年海の家が設置されていた場所

とにより対応困難との申し出があり、今年に限り中止の了解をした。

ふれあいの湯シャ ワー増設



長戸路義郎議員

ふれあいの湯の洗い場は狭く感じるが、シャワー2機を増設することで、隣の人にシャワーの水が掛かる等の心配はないか。

笹本重喜健康課長 既設のシャワーは他の施設に比べ広めに設置されていて、他の施設で問題が起きていないので、他の施設同様の間隔で設置したいと考えている。

介護認定の現状



田村六郎議員

在宅者の介護認定において、認定区分が1から4、ま

たは、4から1等大幅に変更される可能性があるか。また、大幅変更があった方の現況把握はできているか。

笹本健康課長 回復が早い場合、大幅な変更も発生する。

介護認定は1回目の調査は町、更新時からは居宅介護支援事業所で実施しているが、極端な変更があった場合、町職員が再度調査している。

町立病院の事務室において現金が紛失



土屋博議員

前払金の仮出金において、現金不足額320万7426円が発生した件について発覚から現在までの経過を教えてください。また、今後の管理体制の事務改善を望む。

土屋久企業管理者 平成22年1月27日、臨時診療医師への賃金、自動販売機売上、つり銭用等の現金不足が発覚した。

4月不足金額の確定を行

い、5月12日警察に届出を行った。警察の指導があり、捜査に支障を来さないように今回報告となった。現在捜査中である。

福田高峰事務長 現在、現金等に関する管理体制を強化改善した。

看護師の超過勤務手当未払い

奥山幸子議員

町立八丈病院の看護師に超過勤務手当が未払いとなっていたと聞いたが、未払い期間、対象人数、総額、再発防止策を教えてください。

福田事務長 平成22年3月看護師より申し出があり、準夜勤手当の一部が未払いであったことが発覚した。

時効が2年であることから2年間遡り、7月末、対象者21名に損害金5%を上乗せし、総額81万1千円を支払った。

チェックする人数を増やし再発防止策を取っている。

町ナビ

10月5日、平成22年度八丈町防災訓練が檜立運動場で行われた。八丈島南方沖で地震が発生し、八丈島に大津波警報が発令されたことを想定しての訓練を実施。檜立消防団による乙千代ヶ浜で釣りをしている人の避難誘導、町消防による倒壊家屋からの救出救助等が行われた。住民に実際体験してもらう煙体験ハウスでは、煙で充満した通路内から、そのすさまじさに「何も見えない、どう歩いていいかわからない」との声が聞こえていた。



編集後記

名古屋市、阿久根市等のニュースで行政に関心を持たれる方も多いのではないのでしょうか。地方自治体（区市町村）の住民向けサービスには、子育て、教育、福祉、住宅インフラ、税金と、子どもの誕生から始まり、長年にわたり住民生活とは切っても切れない関係にあります。最近の行政調査では住民向けサービスに大きな差があることが浮き彫りになっています。水道料では7～8倍、保育料で4～5倍、介護保険料で2～3倍、どこに住むかによって負担

は全く異なります。医療面では格差はより鮮明になっています。

国や地方の行財政改革が本格化するなかで、資金が潤沢な東京都の町村では、経済が成長し、財政が潤う時代はとっくに終わったことが分かりづらく、八丈町でもどういうサービスが本当に必要か、どういう補助金がいらぬか知恵を絞らなければ、住民の負担増だけでは芸がなさ過ぎると思いませんか。

(R)

発行人 八丈町議会議長 小沢一美

編集 議会だより編集委員会 委員 山下崇 岩崎由美 水野佳子 奥山幸子

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷2345-1 tel 04996-2-1121 fax 04996-2-5575